

あわらし金津雲雀ヶ丘寮

事業内容

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、
短期入所生活介護事業所、
通所介護事業所等

1949年以来、これまでもこれからも
地域の社会福祉の基盤を支え続ける。



1 さまざまな部署の職員同士が意見を活発に交換し、風通しのよい職場で地域福祉を支えている 2 坂井地区青年農業者クラブのボランティアによるもちつき 3 利用者と一緒に教育博物館へお出かけ

地域との交流を大切にした福祉サービス。

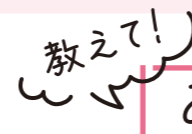
あわらし金津雲雀ヶ丘寮は1949年に生活保護法に基づく「県立宿泊提供施設」として設立され、70年以上にわたって地域福祉の拠点となってきました。1986年に全施設が旧金津町に移譲され、現在はあわらし市の施設として、同市の社会福祉協議会が指定管理者となり福祉事業所を運営しています。特別養護老人ホームやショートステイ、デイサービスなど介護保険のサービスに加え、養護老人ホームや障がいのある人への相談支援、福祉移送や食事サービスなどの地域貢献活動など、地域の社会福祉の基盤を支える施設でもあります。

2023年にはコロナ禍で中止していた秋のイベント「ひ・バリバリふれあい祭り」が4年ぶりに復活。車いす清掃や傾聴のボ

ランティア受け入れも活発化するなど、地域との交流にも積極的に取り組んでいます。

風通し良く、職員間の交流が活発。

大規模施設ながら、職員は部署を越えて意見を交換。風通しが良く、職員同士が意見を言い合える職場環境づくりに努めています。福祉サービス向上などを旨とした委員会活動も活発で、職場内外の研修への参加促進や、介護職員としての目標や将来像を示すキャリアパスを定めることで、スキルアップを支援。他事業所と比較すると休日が多く、夜勤時間を短く設定し、夜勤が困難な職員には配置面での配慮をするなど、待遇面も充実させています。



あわらし金津雲雀ヶ丘寮 のすごいところ

Q 会社の自慢を教えてください！

A 「私たちは、高齢者・障がい者福祉の向上に努め、地域から信頼される施設を目指します」という「基本理念」と、次の「基本方針」を大切にしています。質の高いサービスを提供するために①感謝の心や謙虚な心を忘れない②利用者の人権・尊厳を大切に③地域とのつながりを大切に④専門性の向上を図る⑤あいさつやコミュニケーションを大切に—という5つの基本方針をいつも意識しています。



Q この先、目指していることは？

A 職員の資質向上に力を注いでいます。福祉や介護の分野では常に新しい課題に対応することが求められるので、外部研修への参加を積極的にサポートしています。その職員は施設内で講師となって他の職員にも成果を共有し、職場全体の専門性の向上を目指しています。またキャリアパスと人事評価制度の充実により、研修を重ねることでキャリアと賃金がアップできる仕組みを整えています。



みました。

聞いて

気になること、

Q 仕事にはどんな人を求めていますか？

A 感謝の心・優しい心・謙虚な心で利用者寄り添えることを期待します。笑顔を絶やさず利用者を元気づけ、その人らしく毎日を過ごすための介護・支援を行ってほしいと思います。

Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 高齢化が進むと、福祉事業はさらに必要とされる仕事になります。利用者との日常生活や施設内の行事、地域との交流を通じて、一緒にさまざまな体験をしていきましょう。



寮長
道官 吉一さん

こんな職場です

チームワークを高め
よりよいサービスを提供。



職員間の人間関係は良好です。さまざまな行事を通じて風通しが良い職場づくりに取り組み、チームで協力してサービスの提供に努めています。



あわらし金津雲雀ヶ丘寮

〒919-0632 あわらし市春宮3-28-21
TEL.0776-73-0144 FAX.0776-73-1343
<https://www.awara-hibari.jp/> care@awara-shakyo.or.jp

設立:1949年/代表:寮長 道官 吉一/資本金:1億8,341万円/売上:7億3,719万円
(2022年度)/従業員数:147人/平均年齢:45歳/勤務地:あわらし市/勤務時間 シフト制/福利厚生:社会保険完備、昼食代補助、ユニフォーム貸与、永年勤続表彰

U19ターン
採用企業

中学生
職場体験
受入れ企業

インターン
受入れ企業

公式WEBサイト

